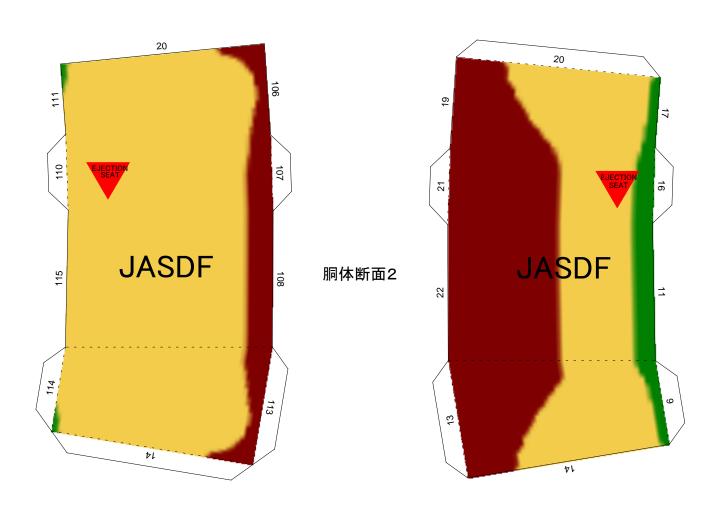
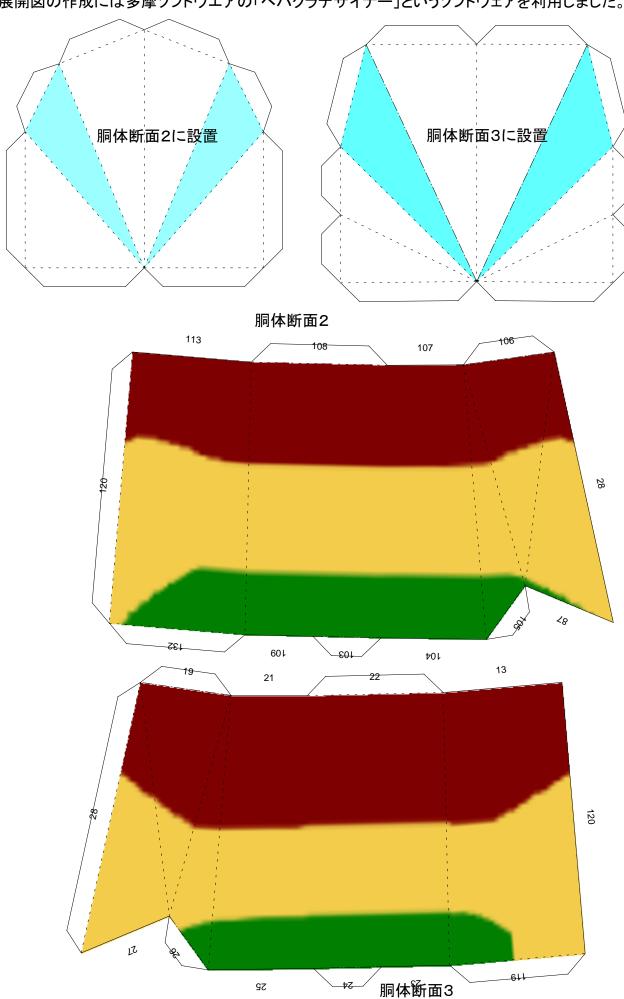


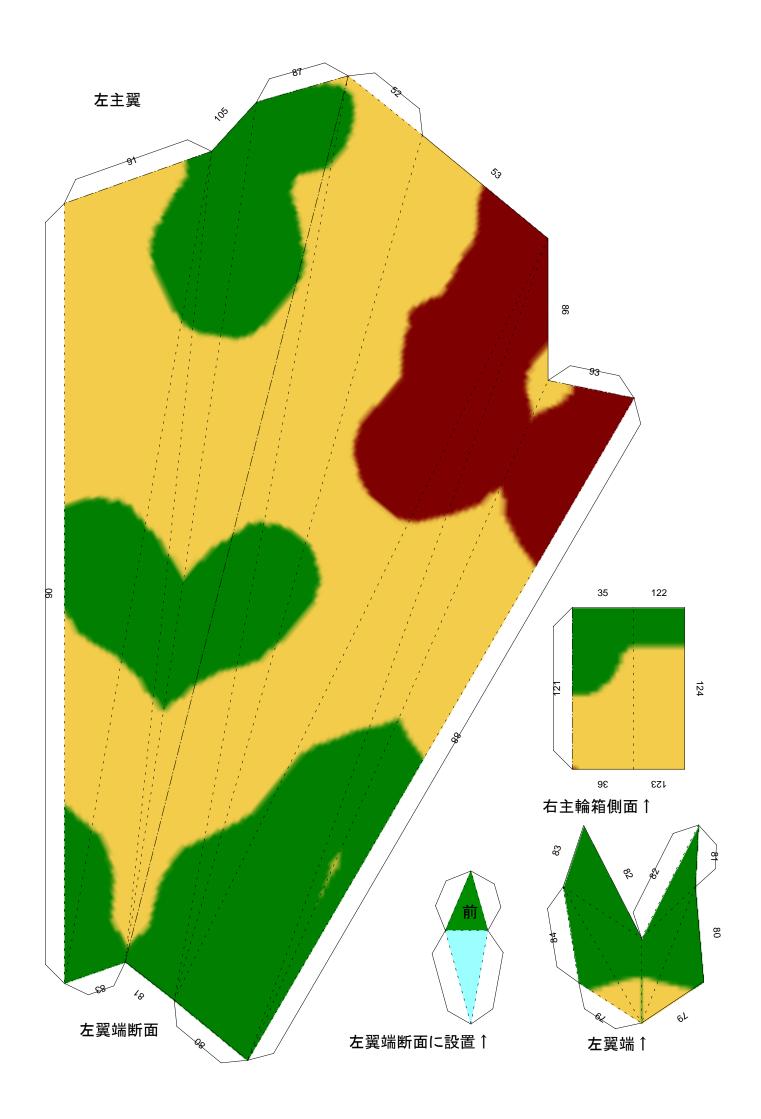
支柱を利用せず、主輪を利用して「着陸」状態にする場合は、機首に重りを少々入れる必要があります。 (重心が比較的後方にあるので、重りが無いと機首が上を向いてしまいます。)

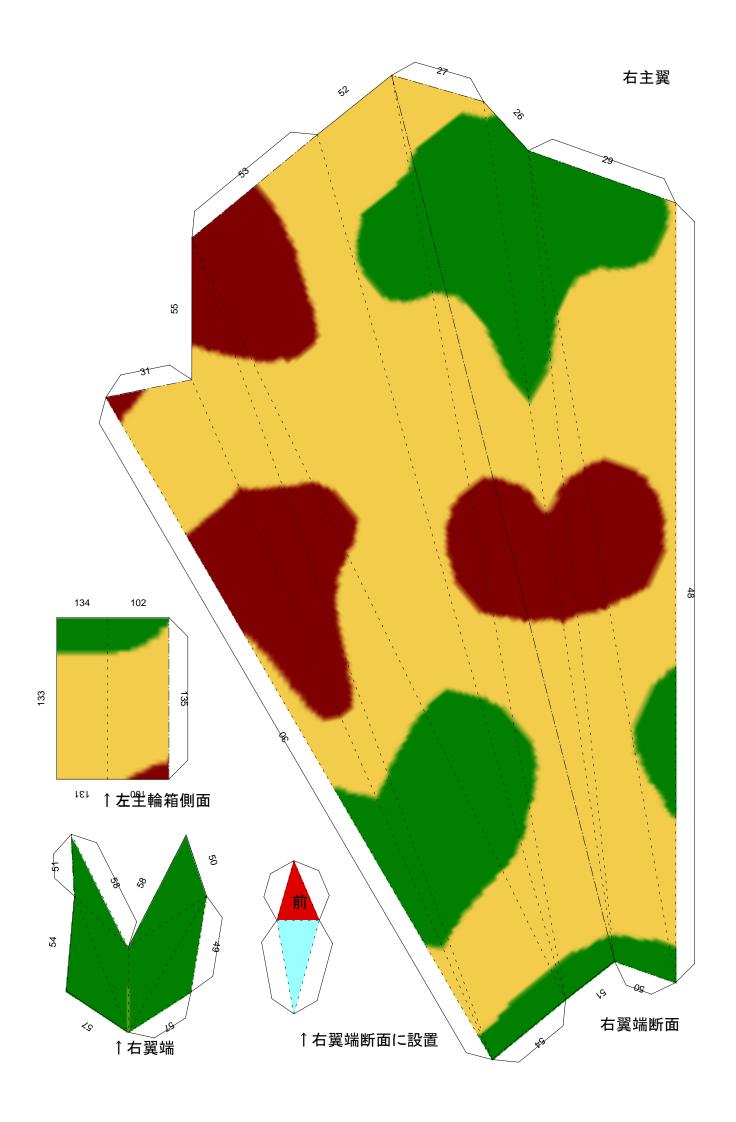
胴体断面の仕切板や翼の桁は 形が不安定な場合に適宜設置 願います。必ずしも全部を入れる 必要はありません。

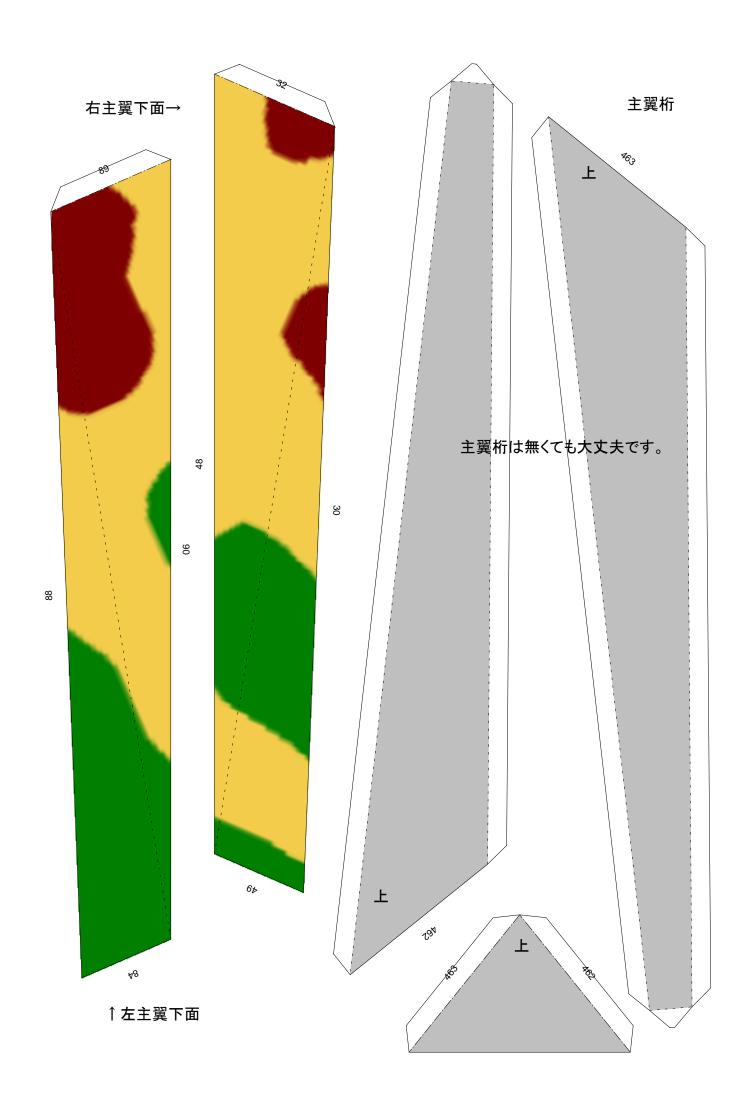


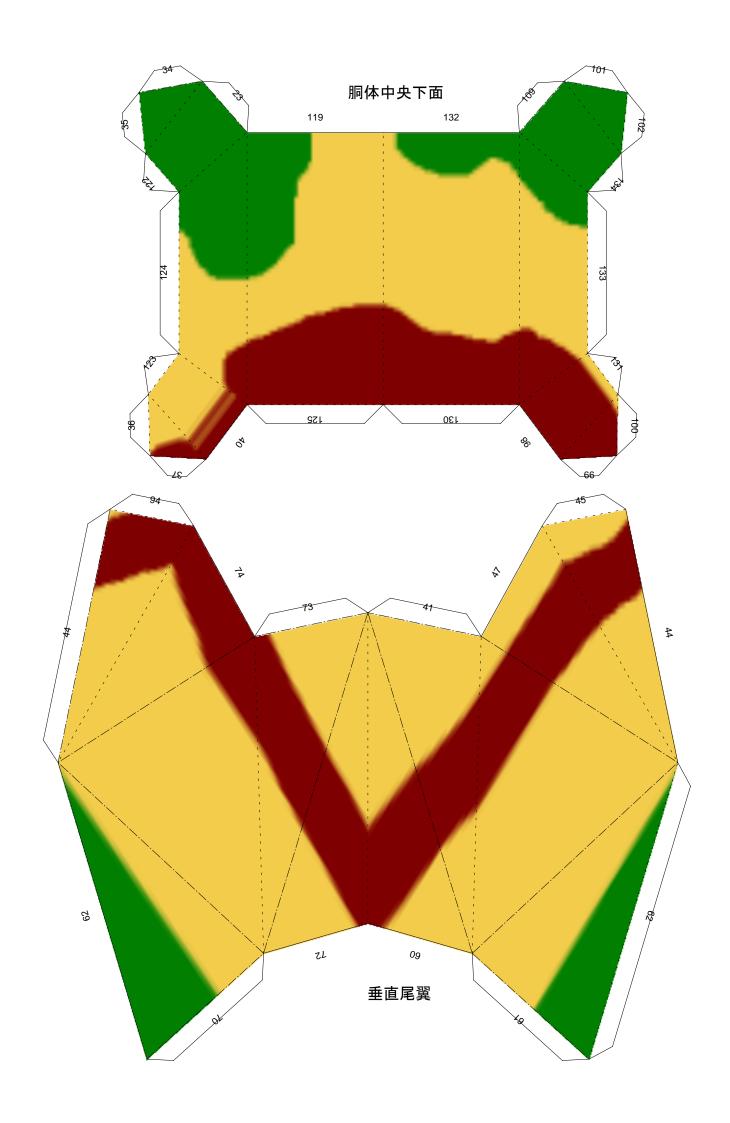
展開図の作成には多摩ソフトウエアの「ペパクラデザイナー」というソフトウェアを利用しました。

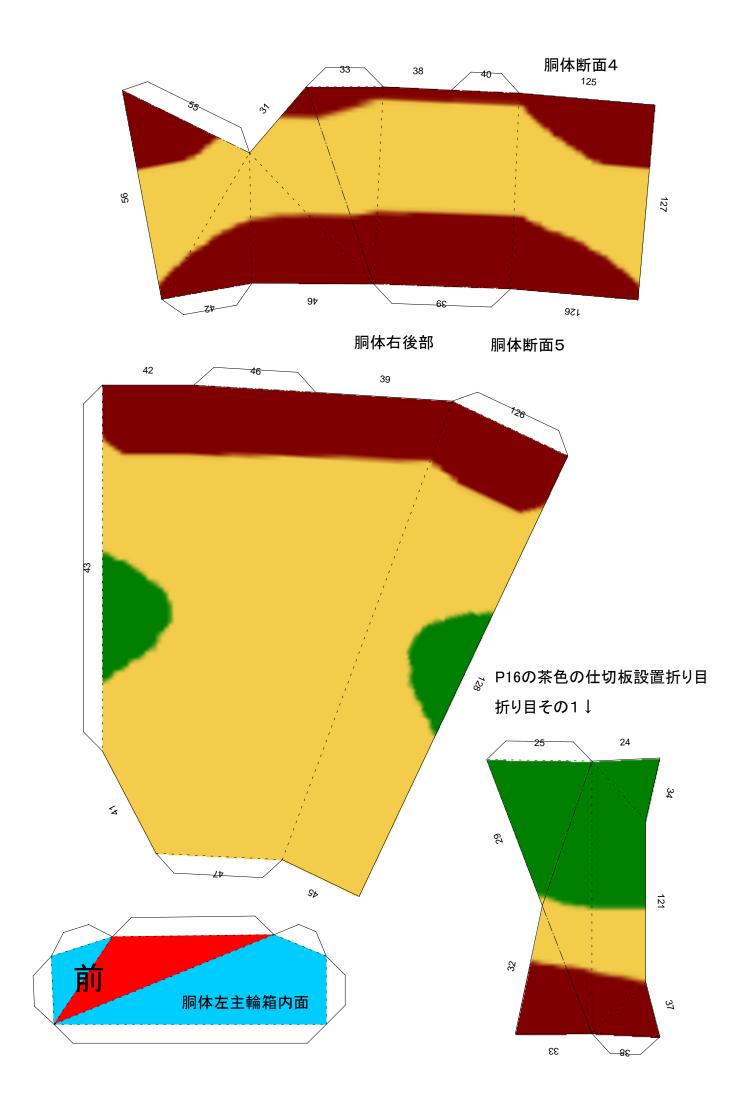


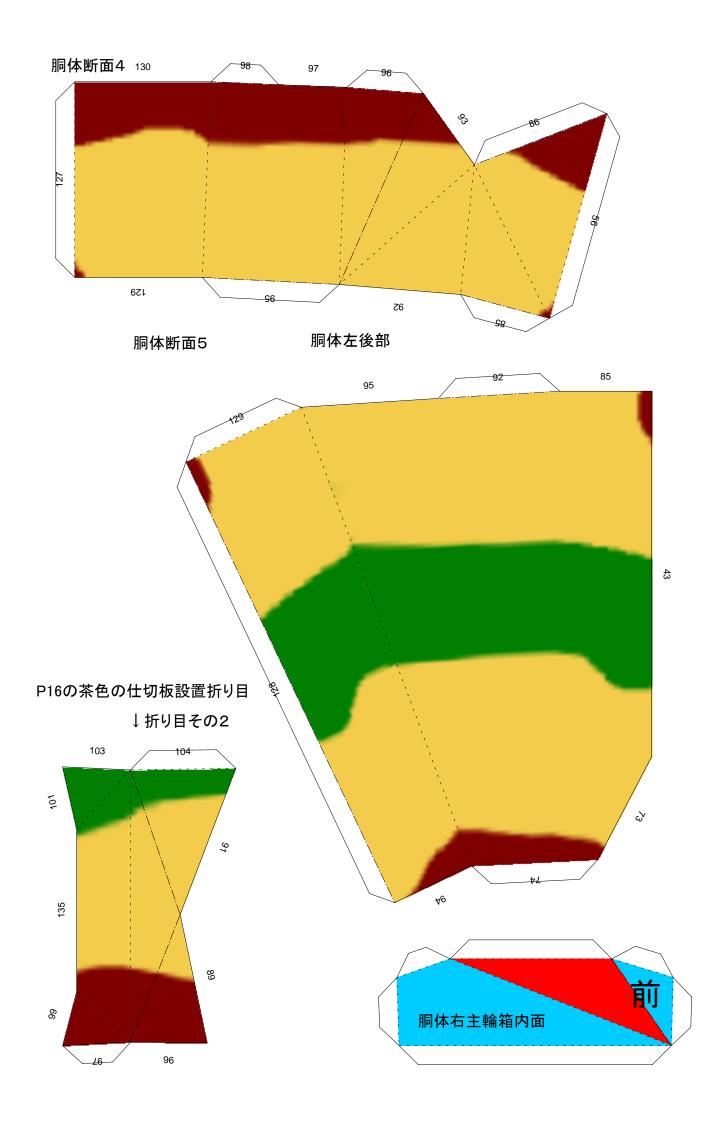


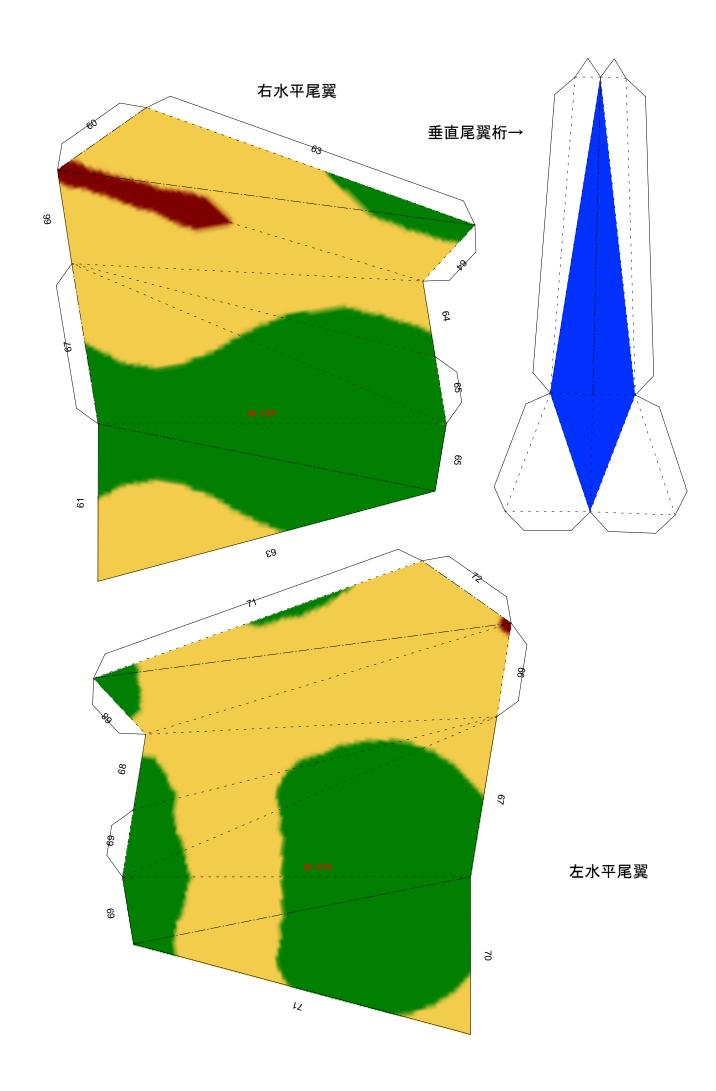


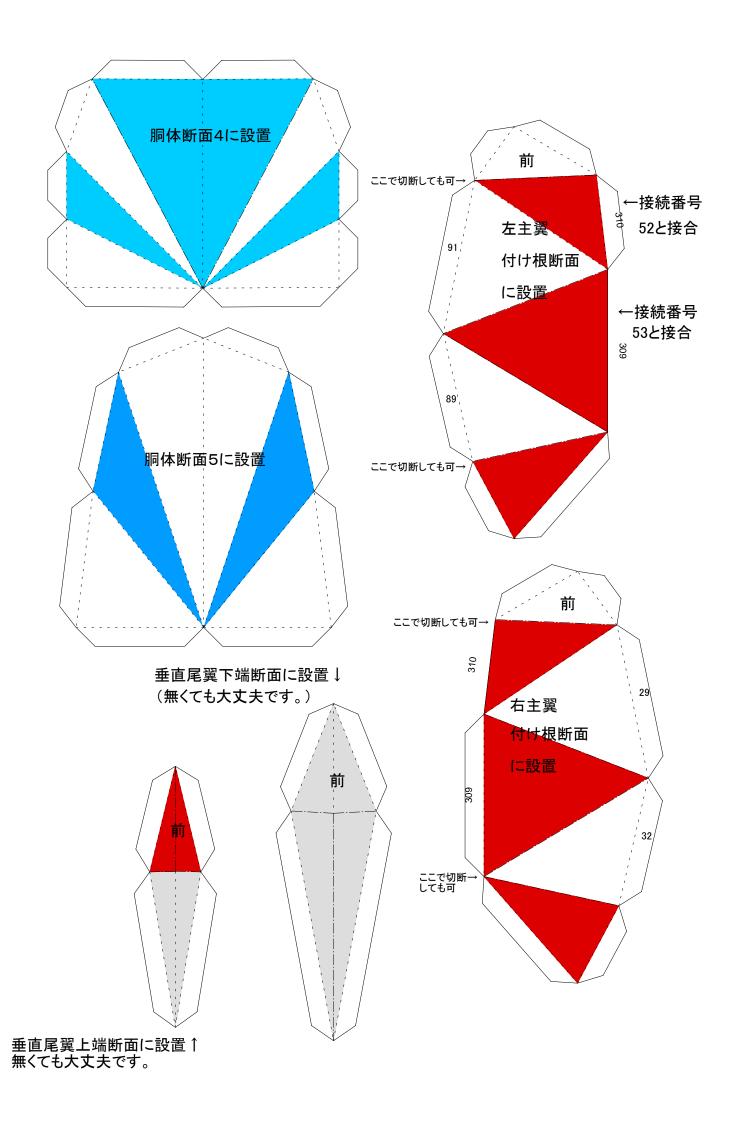


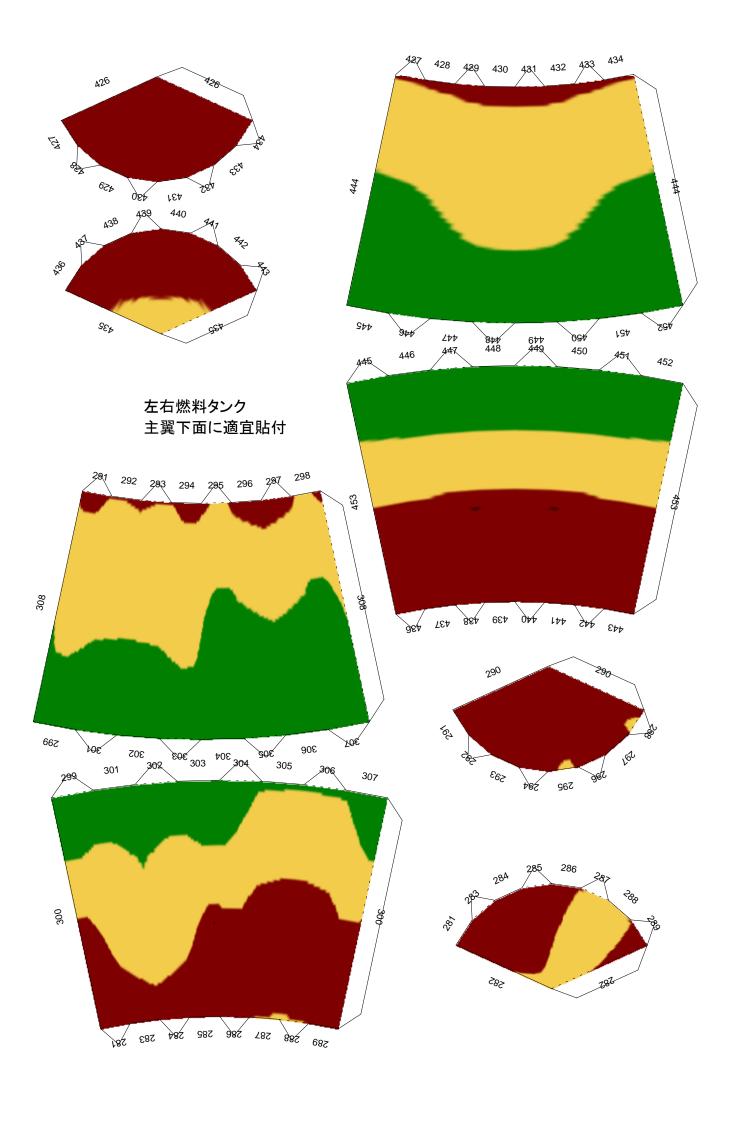


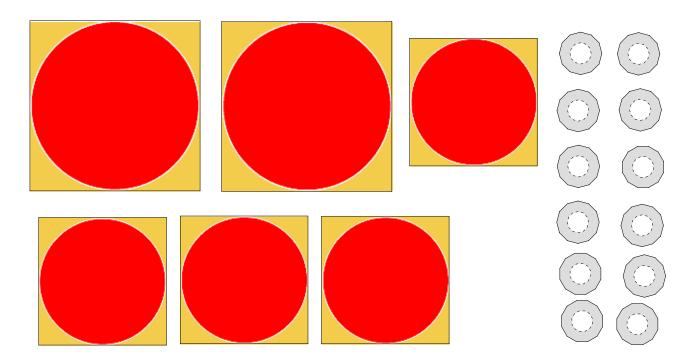




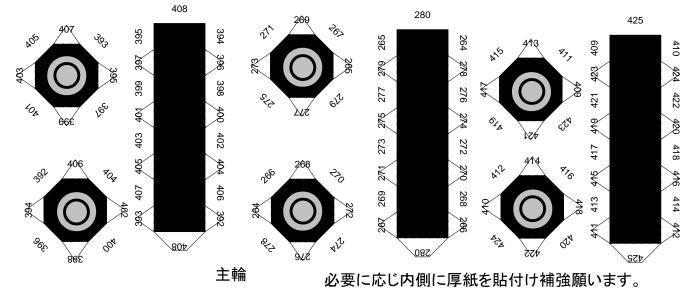




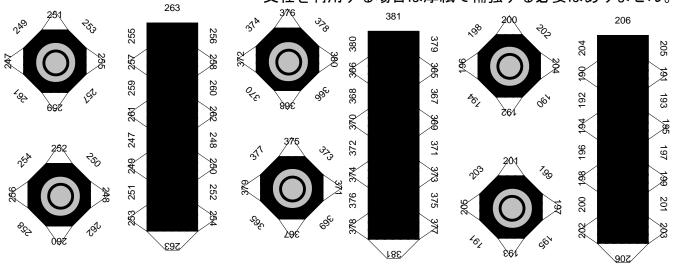


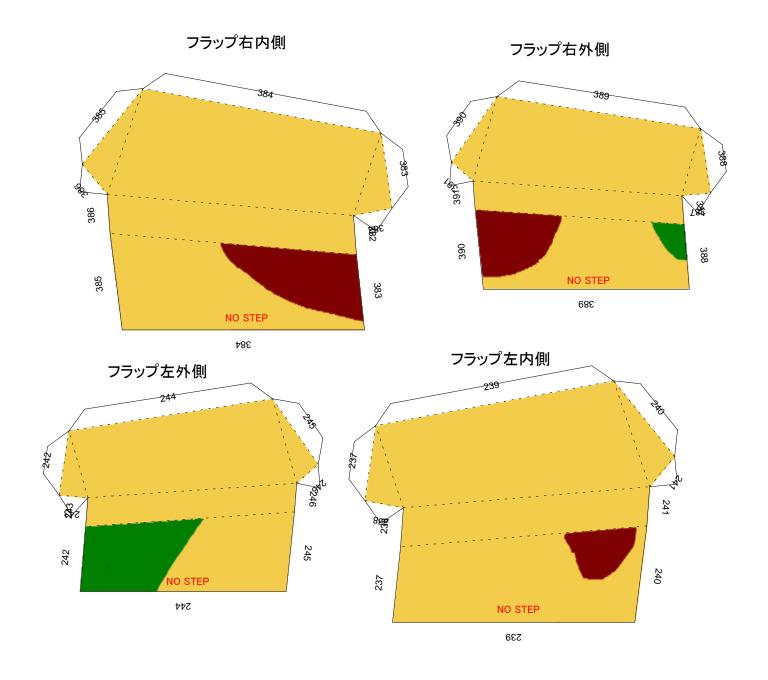


↑国籍マーク 使用しません。↑ 国籍マークは少々大きすぎました。お好みで小さめに切り抜いて使用願います。



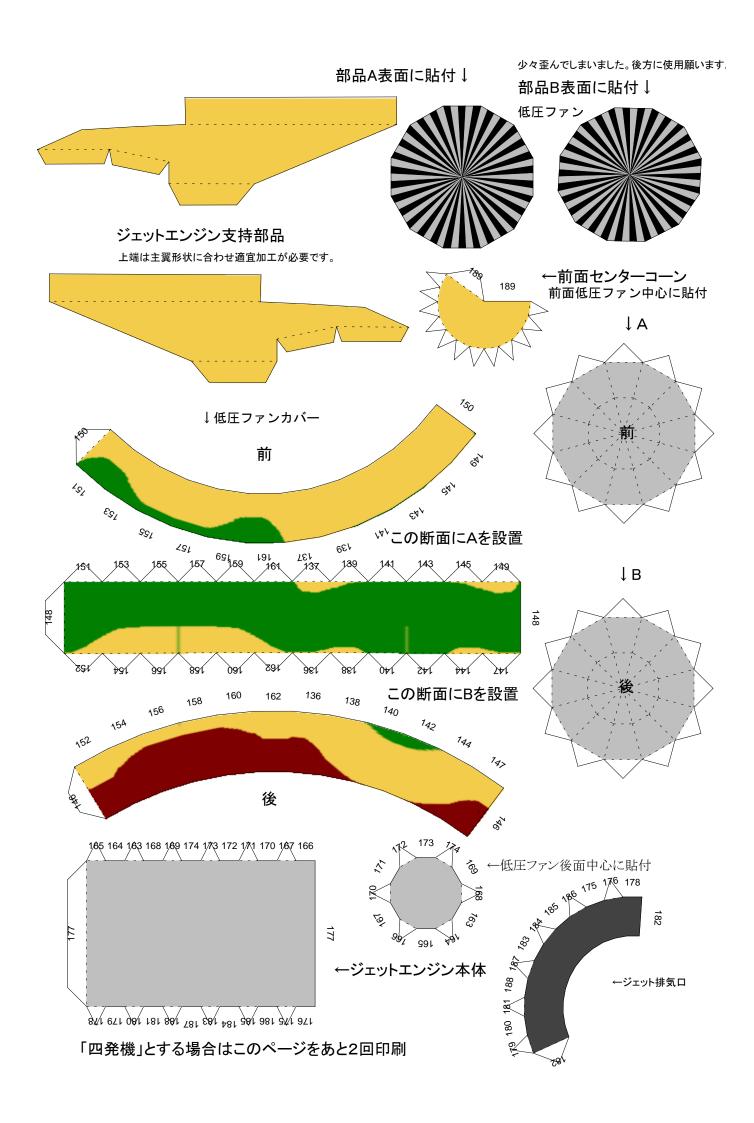
支柱を利用する場合は厚紙で補強する必要はありません。

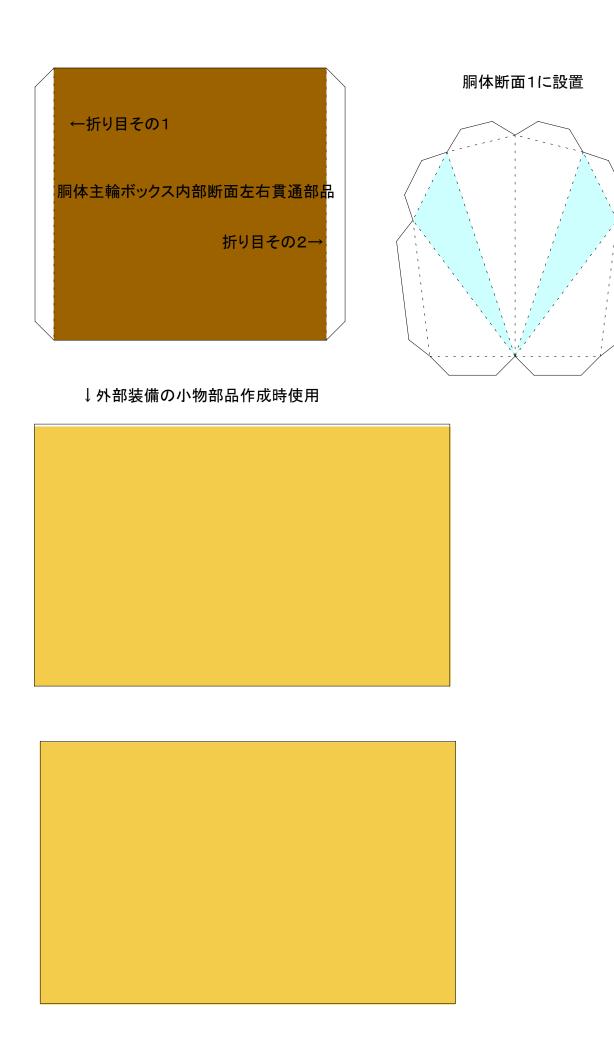


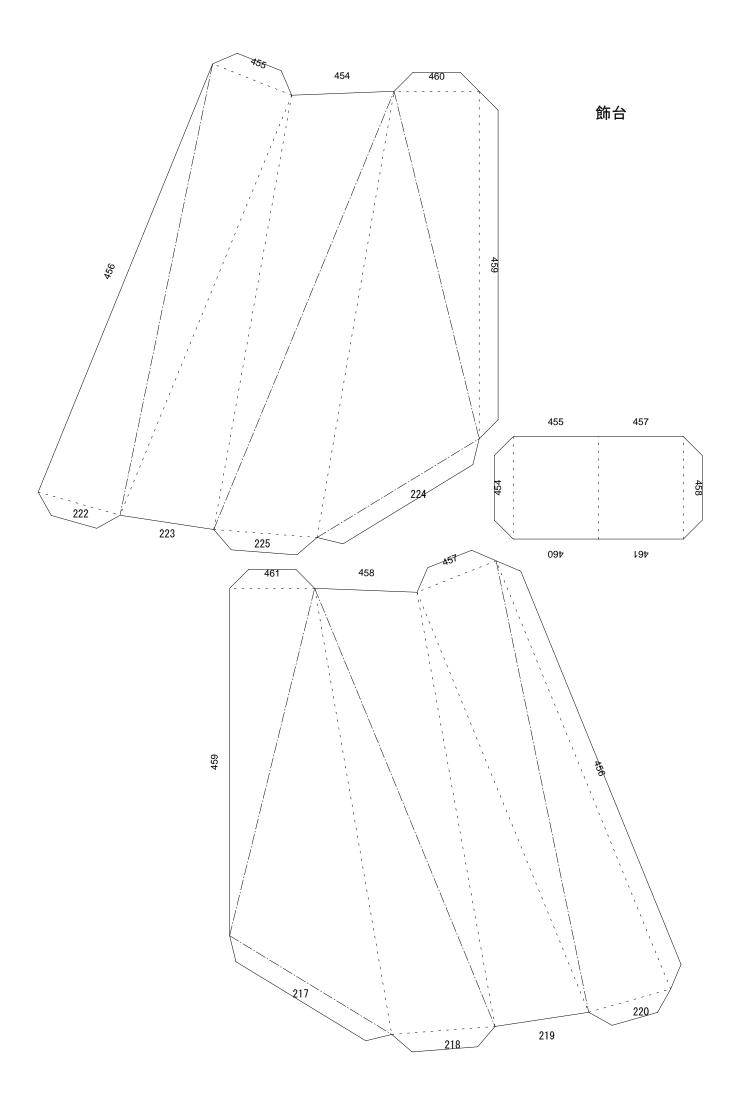


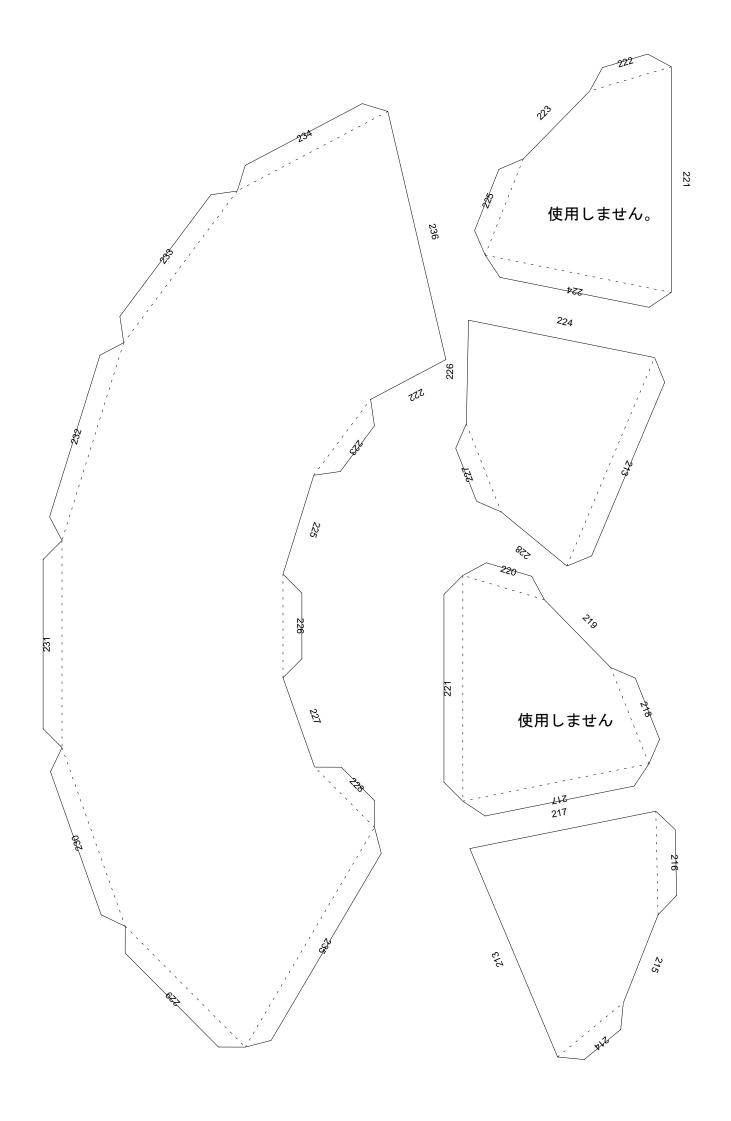
一主輪引き込み穴「車輪出」状態にする場合に使用。胴体下面に適宜貼付。

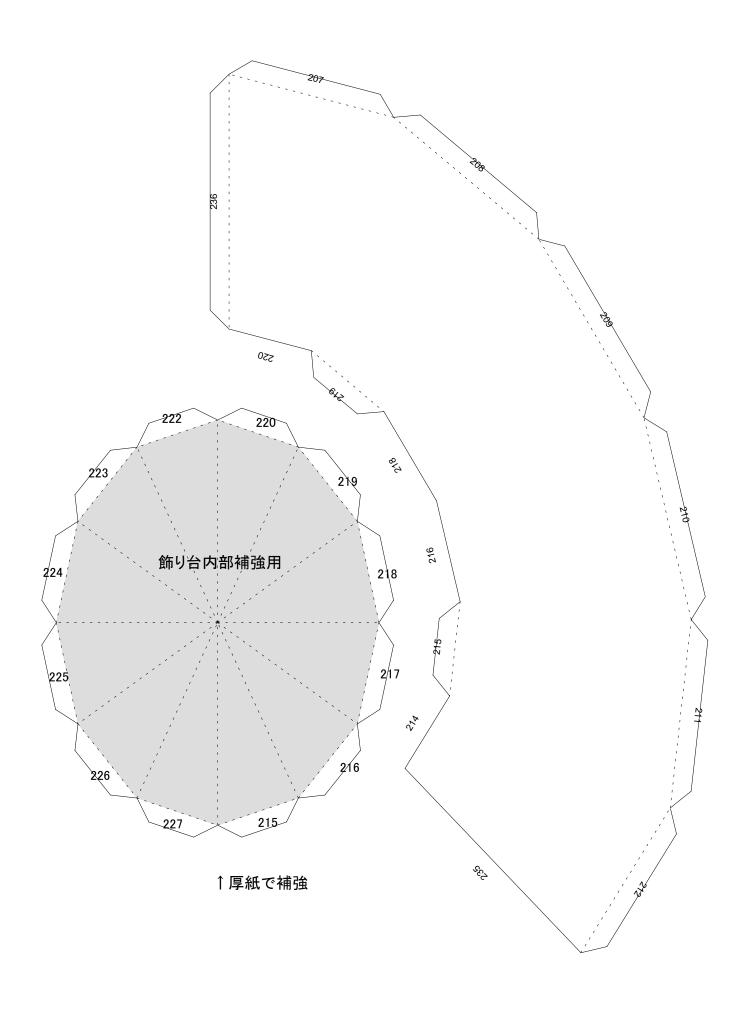












厚めの紙で印刷するか、印刷後裏を厚紙で補強

